

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学概論	担当	和田 美江子	
履修学年	1年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	成人期にある人を全人的に捉え、成人期の健康上の課題を理解し、その健康レベルが生活に及ぼす影響を判断する能力を養い、また健康を保持増進するための適切な看護を実践する能力を養う。			
目標	1. 成人期にある対象の健康の保持増進を支援するための保健・医療・福祉における役割と機能について理解できる。 2. 成人の成長・発達の特徴や発達段階および成人の健康上の課題に対して、基本的なアプローチを理解できる。 3. 成人の健康レベルの現状と動向を理解し、健康の保持・増進を支援するための基礎知識を理解できる。 4. 成人期にある対象のもつ健康上の課題を解決するための援助方法を理解できる。 5. 成人の健康レベルに応じた看護実践について、アセスメントすることができ、援助の方法を理解することができる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	2	成人看護学の構成と概念	講義
2	2	成人各期にある対象	講義
3	2	成人各期の健康問題	講義
4	2	保健・医療・福祉における動向	講義
5	2	成人看護における倫理と看護者の役割	講義
6	2	成人看護で用いる理論	講義
7	2	成人の健康生活を促す技術 課題	講義
8	2	急性期にある患者への援助健康生活の急激な破綻から回復を促す看護	講義
9	2	慢性期にある患者への援助健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護	講義
10	2	慢性期にある患者への援助健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護	講義
11	2	慢性期にある患者への援助 がんについて考える①	講義
12	2	終末期にある患者への援助 がんについて考える②	講義
13	2	回復期にある患者への看護 治療過程にある患者への看護技術	講義
14	2	回復期にある患者への看護 退院支援の看護技術	講義
15	2	まとめ	講義

教科書	成人看護学総論:医学書院
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学援助論Ⅰ	担当	佐藤由紀・石川美代子・ 蘇武貴美子・小林妙子・ 及川美代・小林美紀・鈴木規予・里中紋子・水野啓子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	成人期にある人を全人的に捉え、成人期の健康上の課題を理解し、その健康レベルが生活に及ぼす影響を判断する能力を養い、また健康を保持増進するための適切な看護を実践する能力を養う。			
目標	成人期にある対象の持つ健康上の課題を解決するための援助方法を理解できる。 *教育課程内参照			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1～3	6	呼吸器障害のある患者の看護	講義	小林
4～6	6	循環器障害のある患者の看護	講義	及川・小林
7～9	6	腎尿路障害のある患者の看護	講義	里中・水野
10～12	6	消化器障害のある患者の看護(内科)	講義	佐藤
13～15	6	消化器障害のある患者の看護(外科)	講義	石川・蘇武

教科書	系統別教科書:医学書院
評価	試験によって総合的に評価する。

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学援助論Ⅱ	担当	石川美代子・石川光・ 豊田直樹・中森香織 蔵野あずさ・玉村浩美・ 高野橋信子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	成人期にある人を全人的に捉え、成人期の健康上の課題を理解し、その健康レベルが生活に及ぼす影響を判断する能力を養い、また健康を保持増進するための適切な看護を実践する能力を養う。			
目標	成人期にある対象の持つ健康上の課題を解決するための援助方法を理解できる。 *教育課程内参照			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1～3	6	内分泌・代謝障害のある患者の看護	講義	玉村
4～6	6	血液・造血器障害のある患者の看護	講義	蔵野
7～9	6	脳・神経障害のある患者の看護	講義	豊田
10～12	6	運動器障害のある患者の看護	講義	石川
13	2	生殖器障害のある患者の看護	講義	石川
14・15	4	免疫機能障害のある患者の看護	講義	高野橋

教科書	系統別教科書:医学書院
評価	試験によって総合的に評価する。

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学援助論Ⅲ	担当	大沼 キヨイ 澤田 律子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	成人期にある人を全人的に捉え、成人期の健康上の課題を理解し、その健康レベルが生活に及ぼす影響を判断する能力を養い、また健康を保持増進するための適切な看護を実践する能力を養う。			
目標	成人の健康レベルに応じた看護実践について、アセスメントすることができ、援助の方法を理解することができる。 成人期にある健康レベルをもつ対象と家族の問題を理解し、健康レベルに応じた個別的な看護実践をするための看護過程の展開ができる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1	2	看護過程の展開 計画の立案	講義	大沼
2～3	4	看護過程の展開 立案した看護の発表	講義	大沼・澤田
4～5	4	看護過程の展開 心筋梗塞の看護過程の発表	講義	澤田
6～7	4	看護過程の展開 心筋梗塞の患者の計画実践	講義	澤田
8～9	4	看護過程の展開 周手術期の看護	講義	大沼
10～11	4	看護過程の展開 周手術期の看護 術後のバイタルサイン	講義	大沼
12～13	4	看護過程の展開 周手術期の看護 早期離床の看護実践	講義	大沼
14～15	4	看護過程の展開 肝臓がんの患者の看護過程の展開	講義	大沼・澤田

教科書	系統別教科書:医学書院
評価	試験、看護過程の提出状況、演習中の内容評価によって総合的に評価する。
履修上の注意点	急性期として心筋梗塞、胃がんの患者。特に胃がんの患者は周手術期とする。慢性期として多発性骨髄腫、終末期として肝臓がんの事例で立案し、看護展開する。 *教育課程内参照

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。

大沼キヨイ:12年間病院にて看護師としての勤務あり

澤田律子:8年間病院・施設にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	老年看護学概論	担当	酒井 知美 大高 恵美子 中根 よし子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	老年期にある対象と家族および支える人々を理解し、加齢と健康障害の程度に応じた看護に必要な知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 老年看護の概念および機能と役割が理解できる。 2. 加齢による身体的・精神的・社会的変化の特徴が理解できる。 3. 高齢者の健康と生活の多様性が理解できる。 4. 高齢者の医療・保健・福祉対策の動向と現状が理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1	2	老年看護の歴史、老年看護の基本姿勢	講義	酒井
2	2	倫理 老年看護学で使用する看護理論	講義	酒井
3	2	高齢者の身体的、生理的側面 グループワーク・老人体験	講義・演習	酒井
4	2	高齢者の身体的、生理的側面 グループワーク	講義・演習	酒井
5	2	高齢者の身体的、生理的側面 グループワーク発表	講義・演習	酒井
6	2	DVD「認知症について」	講義	酒井
7	2	認知症について グループワーク	講義・演習	酒井
8	2	高齢者の心理的・精神的・スピリチュアル側面	講義	酒井
9	2	高齢者の生活	講義	酒井
10	2	まとめ	講義	酒井
11	2	人口の高齢化現象と課題	講義	大高
12	2	人口の高齢化現象と課題	講義	大高
13	2	我が国の高齢者保健・福祉施策 老人保健対策	講義	大高
14	2	我が国の高齢者保健・福祉施策 老人福祉対策	講義	大高
15	2	我が国の高齢者保健・福祉施策 高齢者のための保健福祉活動	講義	大高

教科書	老年看護学：ヌーベルヒロカワ
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
酒井知美：14年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	老年看護学援助論Ⅰ	担当	富澤 喜美江 佐々木 武人	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	15時間
科目設定の理由 (ねらい)	老年期にある対象と家族および支える人々を理解し、加齢と健康障害の程度に応じた看護に必要な知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 高齢者に起こりやすい日常生活上の障害が理解できる。 2. 残存機能を活用し、自立に向けた日常生活援助の方向性が理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1	2	コミュニケーション	講義	富澤
2	2	食事、食生活の援助	講義	富澤
3	2	排泄、清潔への援助	講義	富澤
4	2	生活リズムを整える援助	講義	富澤
5	2	転倒、急変について	講義	富澤
6	2	まとめ	講義	富澤
7	2	リハビリテーション看護 基本動作、歩行	講義	佐々木
8	2	ADL 嚥下、言語障害、福祉用具	講義	佐々木

教科書	老年看護学:ヌーベルヒロカワ
評価	試験にて評価

専門分野Ⅱ

科目名	老年看護学援助論Ⅱ	担当	酒井 知美	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	15時間
科目設定の理由 (ねらい)	老年期にある対象と家族および支える人々を理解し、加齢と健康障害の程度に応じた看護に必要な知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 高齢者の健康障害時の看護が理解できる。 2. 高齢者の特徴を踏まえ生活機能の視点から看護過程の展開ができる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	2	高齢者の看護過程 事例 グループワーク	演習
2	2	高齢者の看護過程 事例 グループワーク	演習
3	2	高齢者の看護過程 事例 グループワーク	演習
4	2	事例分析 グループワーク	演習
5	2	事例分析 グループワーク	演習
6	2	経過でとらえる健康障害 薬物と加齢について	講義
7	2	事例 課題	演習
8	2	まとめ	講義

教科書	老年看護学:ヌーベルヒロカワ
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。
履修上の注意点	看護過程の展開が中心となる。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
14年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	小児看護学概論	担当	和田 美江子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	社会の中で生活する子どもの特徴を理解し、健やかな成長発達を促す援助および健康障害を持つ子どもと家族が療養生活するための看護に必要な知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 子どもを取り巻く社会・環境を理解し、小児看護の理念と役割を理解できる。 2. 子どもの成長発達を理解し、発達段階に応じた看護について理解できる。 3. 小児の健康生活を支援する専門職として、小児を取り巻く諸制度の活用、関連する職種との連携の重要性を学び小児看護観を考える機会とする。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	2	小児看護とは 小児観とは ビデオ「小児」	講義
2	2	小児看護 小児の権利	講義
3	2	小児観 課題	講義
4	2	子ども最善を考えた看護 ビデオ「子ども病院」	講義
5	2	子どもの法律、施策	講義
6	2	発達理論 エリクソン、ピアジェ・看護理論 オレム:事例を通して	講義
7	2	乳児の発達	講義
8	2	乳児の発達	講義
9	2	乳児の発達 ビデオ「あかちやの1日」	講義
10	2	乳児の発達離乳食(フードモデル) 課題:乳児の発達アセスメント	講義
11	2	幼児の発達 ビデオ「さくらんぼ坊や」2歳	講義
12	2	幼児の発達 ビデオ「さくらんぼ坊や」3歳	講義
13	2	幼児の発達 ビデオ「赤ちゃんがやってきた」	講義
14	2	学童の発達、思春期の発達	講義
15	2	まとめ 課題(発達カレンダー)	講義

教科書	小児の発達と看護:メディカ出版
評価	試験、課題の内容・提出状況における評価によって総合的に評価する。
履修上の注意点	発達については、ミニテストにて学習状況を確認する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	小児看護学援助論Ⅰ	担当	菊地 正広 和田 美江子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	社会の中で生活する子どもの特徴を理解し、健やかな成長発達を促す援助および健康障害を持つ子どもと家族が療養生活するための看護に必要な知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 病気や入院が子どもと家庭に与える影響とその看護が理解できる。 2. さまざまな状況にある子どもと家族に対する看護が理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1～10	20	疾患の理解 * 教育課程内に別表あり	講義	菊地
11	2	健康障害や入院が家族や子どもに及ぼす影響	講義	和田
12	2	ストレスを緩和する看護 DVD「プリパレーション」	講義	和田
13	2	検査や処置を受ける子どもと家族への看護	講義	和田
14	2	症状別看護	講義	和田
15	2	看護技術 バイタルサイン・身体計測 DVD「VS」「身体計測」	講義	和田

教科書	小児の発達と看護:メディカ出版 小児臨床看護各論:医学書院 カラー写真で学ぶ子どもの技術:医歯薬出版
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。
履修上の注意点	小児の看護技術は自己学習後、演習を行う。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
和田美江子:10年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	小児看護学援助論Ⅱ	担当	和田美江子・小柳ひとみ・大内圭子・大川宏美	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	社会の中で生活する子どもの特徴を理解し、健やかな成長発達を促す援助および健康障害を持つ子どもと家族が療養生活するための看護に必要な知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. さまざまな状況にある子どもと家族に対する看護を理解する。 2. 健康を障害された小児の看護過程の展開を理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1	2	新生児の看護(感染症・黄疸・メレナ)	講義	小柳・大内・大川
2	2	新生児の看護(蘇生・疾患の看護)	講義	小柳・大内・大川
3	2	急性期にある子どもと家族への看護	講義	小柳・大内・大川
4	2	小児救急患者とその看護	講義	小柳・大内・大川
5	2	慢性期にある子どもと家族への看護	講義	小柳・大内・大川
6	2	終末期にある子どもと家族への看護	講義	小柳・大内・大川
7	2	痛みのある子どもと家族への看護	講義	小柳・大内・大川
8	2	看護過程用紙の説明	講義	和田
9～15	14	看護過程 事例(川崎病・気管支喘息)	演習	和田

教科書	小児の発達と看護:メディカ出版 小児臨床看護各論:医学書院 カラー写真で学ぶ子どもの技術:医歯薬出版
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。
履修上の注意点	看護過程の演習は必ず提出すること。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
和田美江子:10年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	母性看護学概論	担当	戸崎 由美子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	人のライフステージにおける性と生殖に関する基礎と健康の諸問題について理解し、母性看護の対象が健康なライフサイクルを送るための知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 母性の基盤となる概念および母性看護の意義と役割について理解できる。 2. 母性看護の変遷と現状について理解できる。 3. 母性看護の対象を理解し、女性のライフサイクル各期における身体的・心理的・社会的特徴をとらえ、必要な看護について理解できる。 4. リプロダクティブヘルス/ライツについて理解できる。 5. 母性看護における倫理について考えることができる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	2	母性の定義、対象	講義
2	2	愛着、母子相互作用、家族の発達、セクシュアリティ	講義
3	2	リプロダクティブヘルス／ライツ	講義
4	2	母性看護における倫理 DVD「出生前診断」	講義
5	2	母子保健 統計、法律	講義
6	2	DVD「もうすぐ出産～生まれてすぐ～妊娠後期から生後1か月まで」	講義
7・8	4	妊婦体験	演習
9	2	母性看護に役立つ概念と理論、思春期の健康と看護	講義
10	2	成熟期の健康と看護 DVD「小さき命のバトン」	講義
11	2	更年期の健康と看護	講義
12	2	老年期の健康と看護 DVD「揺れる選択おなかの赤ちゃん」	講義
13	2	虐待 性感染症	講義
14	2	性周期、性分化、遺伝子疾患 国試問題練習	講義
15	2	まとめ	講義

教科書	母性看護学1 概論:医学書院
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。
履修上の注意点	妊婦体験がある。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて助産師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	母性看護学援助論Ⅰ	担当	戸崎 由美子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	人のライフステージにおける性と生殖に関する基礎と健康の諸問題について理解し、母性看護の対象が健康なライフサイクルを送るための知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 周産期の看護について理解できる。 2. 正常な褥婦と新生児の看護過程の展開ができる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1～2	4	妊娠期の看護	講義
3～5	6	分娩期の看護 DVD「分娩1～4期」	講義
6	2	産褥期の看護	講義
7・8	4	新生児期の看護	講義
9～14	12	看護過程 ウエルネスとは	演習
15	2	まとめ	講義

教科書	母性看護学2 各論:医学書院
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。
履修上の注意点	看護過程の演習は必ず提出すること。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて助産師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	母性看護学援助論Ⅱ	担当	福地 秀行 戸崎由美子	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	人のライフステージにおける性と生殖に関する基礎と健康の諸問題について理解し、母性看護の対象が健康なライフサイクルを送るための知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 周産期の異常および看護について理解できる。 2. 女性生殖器の疾患および看護について理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1～7	14	母体・新生児の異常 *教育課程内参照	講義	福地
8～15	16	女性生殖器の疾患と看護 *教育課程内参照	講義	戸崎

教科書	母性看護学2 各論:医学書院 女性生殖器:医学書院
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
戸崎由美子:10年間病院にて助産師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	精神看護学概論	担当	大沼キヨイ 島田祥子 富田靖英	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	精神の健康概念とその保持・増進のための基本概念、及び危機状態への援助に必要な知識を学ぶ。精神医学の診断・治療を理解した看護実践・精神障害者の地域生活を支えていくための援助における知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 精神看護学の目的と意義を理解できる。 2. 精神の健康の意義を理解できる。 3. 発達段階・生活の場における精神保健と危機状況について理解できる。 4. 精神看護の基盤になる理論について理解できる。 5. 精神保健医療福祉に対する歴史、社会背景が理解できる。 6. 地域精神保健活動について理解できる。 7. 精神障害者のリハビリテーションについて理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1	2	精神看護とは 看護師に求められる考え方と態度	講義	大沼
2	2	患者－看護師関係 人間関係論	講義	大沼
3	2	セルフケア看護理論 システム理論	講義	大沼
4	2	セルフケア看護理論 システム理論 グループワーク	講義・演習	大沼
5	2	精神保健医療福祉の歴史 課題と法律	講義	大沼
6	2	心はどこにあるのか	講義	島田
7	2	心の健康・不健康	講義	島田
8	2	心の健康とストレス	講義	島田
9	2	心の健康と精神障害	講義	島田
10	2	心の動き	講義	島田
11	2	認知療法と防衛機制	講義	島田
12	2	発達課題、人間関係、心の危機	講義	島田
13	2	当事者理解と家族支援	講義	富田
14	2	家族支援と地域の社会資源・制度	講義	富田
15	2	地域の社会資源・制度	講義	富田

教科書	精神看護学Ⅰ・Ⅱ：ヌーベルヒロカワ
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
大沼キヨイ：12年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	精神看護学援助論Ⅰ	担当	岡田 正樹 成田 さとみ	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	精神の健康概念とその保持・増進のための基本概念、及び危機状態への援助に必要な知識を学ぶ。精神医学の診断・治療を理解した看護実践・精神障害者の地域生活を支えていくための援助における知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 精神障害の病態と診断・治療について理解できる。 2. 精神障害者の看護の方法が理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1～7	14	精神障害の特徴と診断・治療の概要 *教育課程内参照	講義	岡田
8～15	16	精神障害を持つ人の看護 *教育課程内参照	講義	成田

教科書	精神障害をもつ人の看護: メヂカルフレンド社
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。

専門分野Ⅱ

科目名	精神看護学援助論Ⅱ	担当	小国 京子 大沼 キヨイ	
履修学年	2年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	精神の健康概念とその保持・増進のための基本概念、及び危機状態への援助に必要な知識を学ぶ。精神医学の診断・治療を理解した看護実践・精神障害者の地域生活を支えていくための援助における知識・技術・態度を養うことをねらいとする。			
目標	1. 精神の健康増進・回復の援助方法を理解できる。 2. 精神に障害をもつ人の生活の特徴と家族を含めた看護を理解することができる。 3. 精神に障害をもつ人の生活の特徴と家族を含めた看護過程の展開ができる。 4. オレム・アンダーウッド理論が理解できる。			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1～7	14	疾患をもつ人の生活の看護 *教育課程内参照	講義	小国
8～15	16	看護過程の展開 事例:統合失調症	演習	大沼

教科書	精神障害をもつ人の看護:メヂカルフレンド社 精神看護学Ⅱ:ヌーベルヒロカワ
評価	試験・演習中の内容評価によって総合的に評価する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
大沼キヨイ:12年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学実習	担当	澤田 律子	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	講義で学んだ理論を活用し、健康上の問題をもつ成人期の対象を理解し、個別に応じた看護を行うための問題解決能力を養う。さらにチームの一員としての役割、保健医療福祉の連携、協働を通して成人期にある患者に対する看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する。			
目標	1. 慢性期、終末期にある成人期の患者の特徴が理解できる。 2. 慢性期、終末期にある患者の問題を総合的にとらえ看護過程に沿って援助ができる。 3. 慢性期、終末期にある患者に対し、人間関係を基盤とした援助ができる。 4. 慢性期、終末期にある患者を対象とする医療チームの一員として、保健医療福祉との連携、他職種との連携・協働の実際を理解する。 5. 対象の個別性・生活背景を理解し、信条、信念、価値観を尊重した行動がとれる。 6. 急性期、手術療法を必要とする成人期の患者の特徴が理解できる。 7. 急性期、手術療法を必要とする患者の問題を総合的にとらえ援助することができる。 8. 急性期、手術療法を必要とする患者に対し、人間関係を基盤とした援助ができる。 9. 急性期、手術療法を必要とする患者を対象とした医療チームにおける、看護の役割と責任が理解できる。 10. 看護者となるための態度を身につけ、看護に対する考えを深めることができる。			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習 * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習
3	臨地実習
4	臨地実習
5	臨地実習
6	臨地実習
7	臨地実習
8	臨地実習
9	臨地実習
10	臨地実習
11	臨地実習
12	臨地実習
13	臨地実習

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習病棟の特徴を事前に情報収集し、経過別における看護過程の展開ができるように事前学習をして実習に臨む。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
8年間病院・施設にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	老年看護学実習	担当	酒井 知美	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	老年期にある対象とその家族を含めた人々を総合的にとらえ、加齢や障害の程度に応じた看護が展開できるための知識・技術・態度を修得する。			
目標	1. 老年期にある対象を身体的・精神的・社会的側面からとらえ、健康レベルに応じた看護を総合的に理解する。 2. 老年期にある対象の生活信条、信念、価値観を尊重した行動がとれる。 3. 疾病や障害により生活機能が低下した対象のQOLを高めるための看護を展開できる。 4. 高齢者の保健医療福祉の動向と現状を理解し、他職種との連携・協働を通して看護の役割を理解する。			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習 * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習
3	臨地実習
4	臨地実習
5	臨地実習
6	臨地実習
7	臨地実習
8	臨地実習
9	臨地実習
10	臨地実習
11	臨地実習
12	臨地実習
13	臨地実習

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習病棟の特徴を事前に情報収集し、老年期における看護過程の展開ができるように事前学習をして実習に臨む。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
14年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	小児看護学実習	担当	和田 美江子	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	小児期にある対象の特徴を理解し、各健康のレベルにある子どもとその保護者の看護に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する。			
目標	1. 健康な子どもと接し、乳幼児の成長発達、日常生活を通して子どもの特徴を理解する。 2. 乳幼児のコミュニケーションの特徴を、保育士・教諭や乳幼児との相互作用を通してとらえることができる。 3. 小児各期における特徴を理解し、健康障害をもつ小児と家族の個別性をふまえた看護過程を展開することができる。 4. 健康障害を持つ小児の成長と発達を促す看護について考えを深めることができる。 5. 小児を対象とした医療チームにおける看護の役割と責任を考察できる。 6. 外来における小児と家族の看護を理解することができる。			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習：保育園にて実習（2年次に実習） * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習：保育園にて実習（2年次に実習）
3	臨地実習：幼稚園にて実習 * 詳細については実習要項を参照
4	臨地実習：幼稚園にて実習
5	臨地実習：幼稚園にて実習
6	臨地実習：小児病棟 * 詳細については実習要項を参照
7	臨地実習：小児病棟
8	臨地実習：小児病棟
9	臨地実習：小児病棟
10	臨地実習：小児病棟
11	臨地実習：小児病棟
12	臨地実習：小児科外来 * 詳細については実習要項を参照
13	臨地実習：小児科外来

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習目標を各実習施設にて達成できるように、事前学習をしっかりと行い実習する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	母性看護学実習	担当	戸崎 由美子	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	妊娠・分娩・産褥各期の母性および新生児と、その家族を理解し、健康問題を査定し、対象の健康維持増進のための看護を実践する能力を習得する。			
目標	1. 妊娠の正常経過とそれに伴う母性の身体的・精神的・社会的特徴について理解できる。 2. 妊婦の健康診査の目的が理解できる。 3. 妊婦に対する保健指導の必要性が理解できる。また、保健医療制度や社会資源の活用について理解できる。 4. 分娩の正常経過とそれに伴う母性の身体的・精神的・社会的役割について理解できる。 5. 分娩の進行状態に応じた援助ができる。 6. 産褥の正常経過とそれに伴う母性の身体的・精神的・社会的特徴について理解できる。 7. 産褥の経過に応じた援助ができる。 8. 産褥期における保健指導の重要性を理解できる。 9. 家庭での母児関係が円滑に行われるための援助を考えることができる。 10. 新生児の特徴、全身観察の要点が述べられる。 11. 新生児に対する看護が実施できる。 12. ハイリスク新生児の特徴を理解し、必要な観察の要点を理解する。			

授業計画

日	授業内容
1	学内実習：母性看護技術の確認 * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習：母性病棟 * 詳細については実習要項を参照
3	臨地実習：母性病棟
4	臨地実習：母性病棟
5	臨地実習：母性病棟
6	臨地実習：母性病棟
7	臨地実習：母性病棟
8	臨地実習：母性病棟
9	臨地実習：母性病棟
10	臨地実習：母性病棟
11	臨地実習：保健センター マタニティ教室にて実習
12	臨地実習：保健センター プレパパママ教室にて実習
13	臨地実習：地域における母性に関わるイベント「いいお産の日」にて実習

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習目標を各実習施設にて達成できるように、事前学習をしっかりと行い実習する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて助産師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	精神看護学実習	担当	寺門 由絵	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	精神に障害をもつ対象を理解し、精神の健康を回復するための援助ができる。実習の経験を通して、自己洞察する能力を養う。			
目標	1. 精神障害者とのかかわりを通して、精神障害の構造を理解する。 2. 対象のセルフケア能力をアセスメントし、生活の立直しに必要な援助を理解する。 3. 対象一看護者関係の発展過程を理解し、治療的かかわりの技法を理解する。 4. 精神医療における看護の役割・機能を理解する。 5. 対象の社会復帰の場を理解し社会復帰をめざす対象への看護について理解する。 6. 対象のセルフケア能力の広がりを理解する。			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習 * 詳細については実習要項を参照
2	学内実習: 患者とのコミュニケーションの関りの学習 * 詳細については実習要項を参照
3	臨地実習
4	臨地実習
5	臨地実習
6	臨地実習
7	臨地実習
8	臨地実習
9	臨地実習
10	臨地実習
11	臨地実習
12	臨地実習
13	臨地実習: 共同作業所

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	病院における臨地実習時には、閉鎖病棟・開放病棟・デイケア等にて実習を行う。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
5年間病院にて看護師としての勤務あり